

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年10月23日
【会社名】	株式会社ビジネス・ブレイクスルー
【英訳名】	BUSINESS BREAKTHROUGH, INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 大前 研一
【本店の所在の場所】	東京都千代田区六番町1番7号
【電話番号】	03-5860-5530
【事務連絡者氏名】	代表取締役副社長 伊藤 泰史
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区六番町1番7号
【電話番号】	03-5860-5530
【事務連絡者氏名】	代表取締役副社長 伊藤 泰史
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社及び当社の連結子会社である株式会社アオバイナーナショナルエデュケイショナルシステムズは、平成27年10月22日の両社取締役会において、株式会社アオバイナーナショナルエデュケイショナルシステムズが子会社を取得することを決議いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第16号の2の規定に基づき、臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 子会社取得の決定に関する事項

以下の連結子会社は、平成27年10月22日の取締役会において、子会社取得を決議いたしました。

名称	株式会社アオバイナーナショナルエデュケイショナルシステムズ
住所	東京都練馬区光が丘七丁目5番1号
代表者の氏名	代表取締役社長 柴田 巖

(2) 取得対象子会社の概要

商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	Summerhill International株式会社
本店の所在地	東京都港区元麻布二丁目13番8号
代表者の氏名	代表取締役 デグチ・モニック
資本金の額	3百万円(平成27年3月31日現在)
純資産の額	112百万円(平成27年3月31日現在)
総資産の額	207百万円(平成27年3月31日現在)
事業の内容	幼児教育塾の運営

最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益

(単位：百万円)

	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期
売上高	183	206	237
営業利益	41	33	57
経常利益	45	38	62
当期純利益	27	24	39

提出会社及び当該連結子会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係	当社及び当該連結子会社と取得対象子会社との間には、記載すべき資本関係はありません。
人的関係	当社及び当該連結子会社と取得対象子会社との間には、記載すべき人的関係はありません。
取引関係	当社及び当該連結子会社と取得対象子会社との間には、記載すべき取引関係はありません。

(3) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

本株式取得の目的は、当社インターナショナルスクール事業における世界標準の幼児教育拠点の首都圏最重要地区への拡大、健全な黒字事業取得による連結ベースでの増収増益への早期貢献、ブランド価値やカリキュラムの向上等における子会社間の相乗効果の実現にあります。

当社連結子会社である株式会社アオバイナーナショナルエデュケイショナルシステムズ(以下、AJIS)は、昭和51年(1976年)に「アオバジャパン・インターナショナルスクール」を設立いたしました。平成25年10月の当社による株式取得後は、幼少期から国際色豊かな学習環境下において、グローバル・リーダーシップ、日英等の複数の言語を駆使するコミュニケーション能力、論理的に思考し問題を解決する力、よりよい社会の

ためにイノベーションを起こす起業家精神、リスクを取って新たなことへ挑戦するマインドと行動力の「5つのコアバリュー」をカリキュラムの要諦とし、数十年後の未来社会におけるグローバルリーダーや、地球規模で活躍できる人材の育成を目指して、1歳から高校生までの共学一貫校を運営しております。

同校は、グローバル教育における世界標準を全てのキャンパスで確立すべく、国際バカロレア（IB）の導入を積極的に推進しております。平成27年6月、同年7月において、IBのディプロマ・プログラム（DP）と初等教育プログラム（PYP）の認証校となりました。また、残る中等教育プログラム（MYP）につきましても、既に平成26年9月に公式候補校となりました。

また、AJISの子会社である現代幼児基礎教育開発株式会社の運営する「JQCバイリンガル幼稚園（以下「JQC」）」も、設立以来、日本人を主対象に日英のバイリンガル教育を提供する幼児教育機関として晴海地区で実績を積み重ねてまいりましたが、平成27年9月1日付けでIB初等教育プログラム（PYP）の公式候補校となりました。

このように当社グループは、アオバジャパン・インターナショナルスクール及びJQCバイリンガル幼稚園の全拠点において世界標準の教育を提供すべく、IB教育に関する国内外のベストプラクティスを研究・導入し、国内市場に留まらず世界規模で優秀な教員の採用を推進する等、IBカリキュラムの推進に積極的に取り組んでおります。こうした取り組みを通じて、グローバル教育における最先端校（リーディング・スクール）となることを目指しております。

一方、Summerhill International株式会社は、東京都港区麻布エリアにおいて昭和37年（1962年）に設立された前身のJACインターナショナルスクールから通算50年以上の歴史をもつ「サマーヒルインターナショナルスクール（Summerhill International School）（以下、SH）」を運営しております。SHは、1歳から6歳までを対象に英語によるグローバル教育に早くから取り組み、国内におけるインターナショナルスクールの最激戦区として知られる広尾・麻布地区において、屈指の知名度と実績を確立してきました。その教育理念である「Play-based Learning（遊びの中から学ぶ）」をもとに、20カ国以上の国籍の生徒が集う国際的な環境のもとで、英語他の語学教育に加え、知育・体育・情操教育等バランスのとれたカリキュラムを提供する同校の体験・探求型プログラムは、極めて高い評価を獲得しております。同時に、多様性を受け入れ、グローバルマインドを醸成し、多言語でのコミュニケーション力と論理的思考力を育成するIBの教育理念や探求型カリキュラムとも多くの点で共通項を持っております。

本株式の取得により、インターナショナルスクール事業の幼児教育の拠点は、現在の3拠点（目黒区青葉台、中央区晴海、練馬区光が丘）に港区広尾・麻布地区が加わり、合計4箇所となります。これによって、世界標準の幼児教育の提供体制・地域をより一層拡大し、また、中期的には子会社AJISの運営する「アオバジャパン・インターナショナルスクール」の初等教育部門との教育上、事業上の相乗効果が十分期待できると考えております。

当社は、グループ全体で取り組む「世界で活躍できるグローバルリーダーの育成」のために、今後更にインターナショナルスクール事業の強化を図り、また当社自身が提供する高等教育・社会人教育との連携を強化する事により、1歳から大学院、ビジネスパーソン、経営者までをもカバーする「生涯教育のプラットフォーム」として事業発展を目指してまいります。

（4）取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

Summerhill International株式会社の普通株式	920百万円
アドバイザー費用等（概算額）	5百万円
合計（概算額）	925百万円

以 上